

血液内科

患者数実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
のべ入院患者数	年間	10,936	9,769	13,463
	1日平均	30	27	37
外来患者数	年間	11,407	11,901	11,454
	1日平均	47	49	47
新規入院患者 主な内訳				
急性骨髄性白血病		15	9	23
急性リンパ性白血病		4	7	4
急性混合性白血病		-	-	-
慢性骨髄性白血病		-	-	1
慢性リンパ性白血病		1	-	-
非ホジキンリンパ腫		58	74	87
ホジキンリンパ腫		1	4	6
成人T細胞性白血病・リンパ腫		1	-	2
多発性骨髄腫		12	18	18
骨髄異形成症候群		8	11	10
再生不良性貧血		3	3	6
特発性血小板減少性紫斑病		4	7	3

昨年度のコロナ禍による入院制限の影響が解除された影響か、入院患者数が例年に比較しても増加しました。特に急性骨髄性白血病や悪性リンパ腫の患者数の増加が目立ちました。両疾患共に新規治療薬の上市により治療対象となる患者が拡大した影響も考えられました。外来患者数は例年通りとなりましたが、外来化学療法を行う患者数が増えてきている印象がありました。

(文責／血液内科 主任部長 若狭 健太郎)